

河南図書館大賞

第8回 ノミネート作品発表

かなんとしよかんしんぶん

河南図書館新聞

2025年
11月1日発行
読書月間だよ!!



児童書部門

みなさん、こんにちは。一年ぶりの河南図書館新聞です。あんなに暑かった夏も過ぎ、ようやく秋の気配も深まってきました。あつたかくして読書するのに良い季節ですね。

それでは、お待ちかね今年で8回目を迎える『河南図書館大賞』を発表します。河南図書館が所蔵する本の中から「図書館職員が今1番読んでほしい本」をピックアップして、各部門4冊をノミネート作品としました。

スタッフおすすめ作品を読んで読書の世界に浸り、心に栄養補給をしませんか。

「こころとあたまの、深呼吸。」

2025 読書週間標語

小説部門

◆ 俺たちの箱根駅伝
おれ はこねえきでん

◆ 消えてなくなっても
き

◆ 熟柿
じゅくし

◆ 父の革命日誌
ちち かくめいにしし

YA部門

◆ いのちをまもる図鑑
ずかん

◆ 神の庭付き楠木邸
かみ にわつ くすのきてい

◆ 人生を変えたコント
じんせい か

◆ 探偵伯爵と僕
たんていはくしゃく ぼく

一般書部門

◆ 歩く
ある

◆ いい人すぎるよ図鑑
ずかん

◆ チャンス大城の霊怖人怖
おおしろ れいこわひとこわ

◆ ネコはへぼ液体である
えきたい



河南図書館 人気ランキング

一般書編

映画化された「国宝」や
マスカレード作品最新刊
「マスカレード・ライブ」も大人気!



カフネ

弟をなくし悲嘆にくれた女性が弟の元恋人の職場「カフネ」を手伝うことに。彼女と出会い生きる活力を取り戻す。「食」が繋ぐ「愛」の物語。



2 死んだ山田と教室

死んだはずの山田の魂が教室のスピーカーに憑依し、スピーカーから声が! 男子校で起きた不思議で切ない青春物語。



3 対馬の海に沈む

「JAの神様」と呼ばれた男が不審な死を遂げた。死に隠された真相とは!? 組織の不正と島民の闇に迫ったノンフィクション作品。

児童書編

変わらず「パンどろぼう」や「大ピンちずかん」シリーズは不動の人気!



1 もうじきたべられるばく

「たべられる運命を」を受け入れた牛の願いは、最後に一目だけ、お母さん牛に会いにいけること。感動・号泣必至です。



2 まいにち知育クイズ366

1日1ページ読むだけで頭が良くなる!? いろんなジャンルからだされるクイズ。あそびながら知恵を身につけるの最高じゃん!!



3 ちよとつ

猪突猛進がユーモアたっぷりに表現されたえほん。走る走る! まっすぐ走る愉快で痛快的なイノシシの毎日が描かれています。

おりひめのブックトーク

息を深くすつて、はいて、まずは、深呼吸してみてください。どうですか? リラックスできましたか? いやいや、深呼吸したけなんて... そんな貴方には、こんな本は如何でしょう? 「いきもの」の棚に並んでいます。

『だんだら動物図鑑』(エクスマレッツ)では、動物たちが全力でだらけています。良い感じのだらける姿勢のお手本に。『らくな姿勢がつかめたら、次は爆笑エッセイをどうぞ。『もものかんづめ』(さくらももこ)。但し、図書館の中で突然笑い出すと、周りの人に心配されるので家に帰ってから笑ってくださいね。笑ったあとは、再び深呼吸。これでもリラックスにはまだまだ... 人には、リセットしてみます? 『あきらめると、うまくいく』(藤野智哉) 受け入れ、受け



ヒトは、本を読まねば
死である

『毎日読みたい 365 日の広告コピー』より

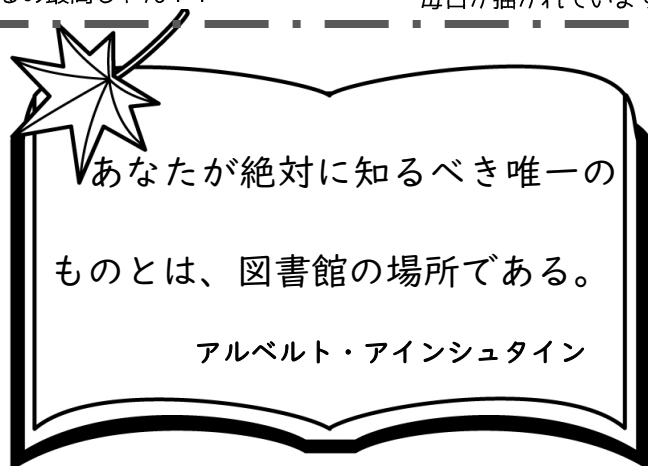


おりひめのつぶやき

「秋は何処へ...」

今年の夏も暑かった! そして長かった... 「暑さ寒さも彼岸まで」と言われているけれど、ずうっと暑い!! のに急に寒くなる。なんだか冬が早くきてしまったよう。秋がとてもしんどい感じられる今日この頃。ゆっくり秋を感じたい。

そんな想いから図書館では、季節感を実感し、愉しんでもらえるよう、四季折々の行事、イベント等々に併せて本を展示しています。敬老の日や、お月見(中秋の名月)、ハロウィンなど「秋」盛り沢山です。また、クリスマスなど「冬」イベントの準備もぼちぼち準備中。四季を感じつつ、読書に耽ってみませんか?

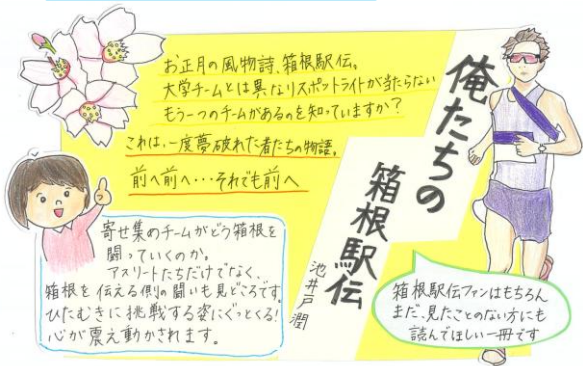


POP

つくってみました！

よんでみて
ください

小説部門



『俺たちの箱根駅伝』
池井戸潤

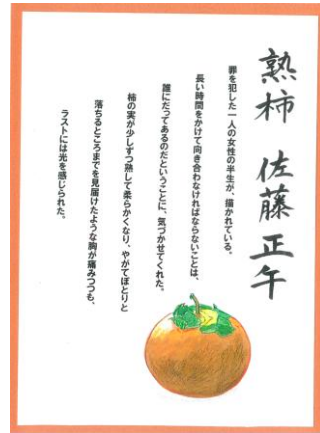
消えてなくなっても

椰月美智子 著

ある日、不安感におそわれにおおのほ
療養のため、ある場所へ、見ず知らずの
つきのと暮らし始めます。
ずと漂う違和感。ミステリー
その違和感の意味に気づいた時
思わぬ声が出ます。

河童が出てきます！

笑い方が独特！！

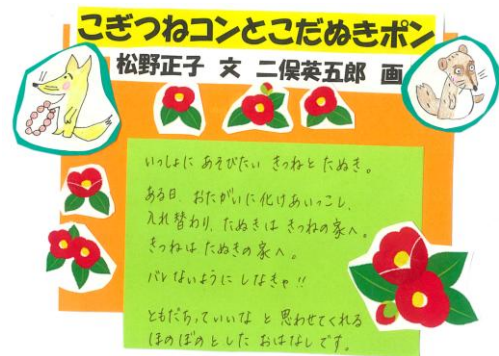


『熟柿』
佐藤正午



『父の革命日誌』
チョンジア

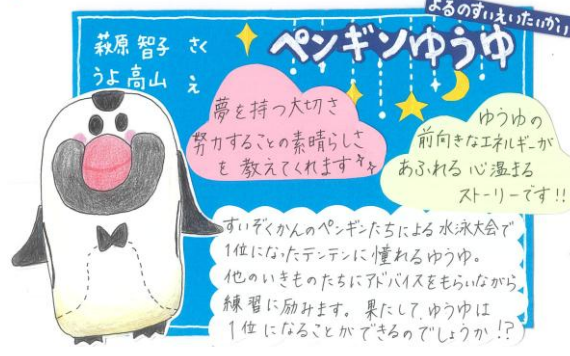
児童書部門



『こぎつねコンとこだめきボン』
松野正子



『たんぽぽのねがいごと』
サリー・ソウェル・ハン



『ペンギンゆうゆ』
萩原智子



『ぼくのねこポー』
岩瀬成子

YA 部門



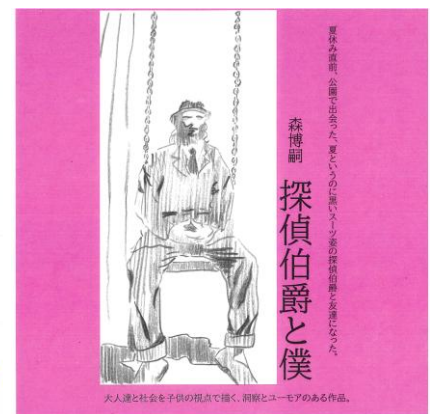
『いのちをまもる図鑑』
池上彰, 今泉忠明/他監修



『神の庭付き楠木邸』
えんじゅ



『人生を変えたコント』
せいや

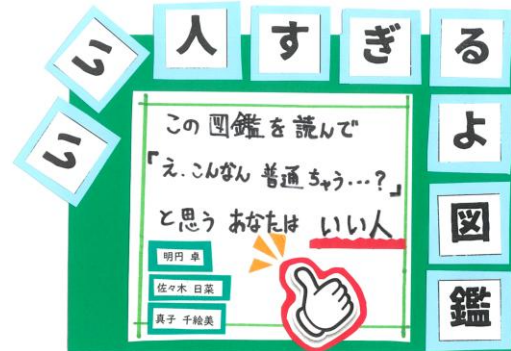


『探偵伯爵と僕』
森博嗣

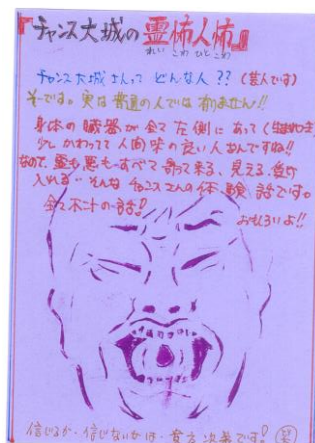
一般書部門



『歩く』
池田光史



『いい人すぎるよ図鑑』
明円卓, 佐々木日菜
真子千絵美 / 著



『チャンス大城の霊怖人怖』
チャンス大城



『ネコは<ほぼ>液体である』
服部円